

～闘魂記～

「闘魂」・・・魂をもって闘おうとする気持ち

西東京市立ひばりが丘中学校第1学年

第6号 2022年 6月6日(月)

学年目標 「けじめ」と「思いやり」

「心を燃やせ」

「えっ、なんで？運動会終わったのに」という言葉が聞こえてきそうです。

クラスが一致団結して行事を熱く頑張ることはいいことです。でも、生徒が一番「熱」を入れて頑張らなくていけないことは「普通の授業」であると考えています。そこが勘違いしやすいのです。運動会は普通の体育の授業の成果を発揮する場です。合唱祭は普通の音楽の授業の成果を発揮する場です。やはり、根本にあるのは「普通の授業」なのです。そこをおろそかにして中学校生活は成り立ちません。それを私たち教員も生徒も忘れてはいけないのです。

だからこそ、運動会で培った「火」は、運動会で終わらせるのではなく、今後の学校生活に生かしていくためにもここからさらに「心を燃やし」、次の期末試験に向けてよりよい授業を生徒たちの手でつくっていくことが大切だと思うのです。頑張りましょう。

さて、最近気になることをお話しします。一つ目は朝読書を自分たちで静かに始められるようになったことです。たかが朝読書、されど朝読書です。学校に登校してまず学級で、学年全体で行わなくてはならないのが朝読書です。勝手な行動は全体を乱します。でも、生徒たちは以前と比べ、比較にならないほど静かに心を落ち着かせ朝読書に取り組むことができています。また、ひとつ時間を守り、やるべきことをきちんとやる「けじめ」が身に付きました。



その反面、給食前の手洗い場では滑って転んでしまいそうなくらい、床に水滴が落ちています。その一番の要因はハンカチを持ってきていないことです。だから手を洗ったあと、水滴を払うようにしてピッピ！とするので床を水滴だらけにしてしまうのです。次使う人や、その床を歩く人のことを考えられれば・・・ハンカチを持参するはずで、もったいば、その根本にあるのは人を「思いやる心」だと思います。そんな状況を考えさせるために、終学活を使い各担任から、話をしてもらいました。集団生活の基盤は「思いやり」です。けじめをつけて生活ができるようになったからこそ、人を思いやる「心」も時間をかけてじっくり考えさせ、育てていきたいと思えます。(見づらいですが、左の写真が給食前の手洗い場です。床一面が水滴です)

※裏面にはタブレット使用する際のひばりが丘中学校での約束を載せましたので、ご家庭でもご確認下さい。

「とある先生の日常」

E先生の歌唱授業ではその美声を存分に発揮し、歌うことの魅力を伝えていきます。ここ数年、合唱祭を開催することでできていませんが、今年こそ開催できるように今の段階から準備を進めています。また、優しさあふれる雰囲気があり、生徒を包みこみます。そんなE先生は絶対に生徒を見捨てません。

【タブレットを使用するときの注意事項】

授業の先生が許可したときのみ、
使用しましょう。

<学校での使用・置き場所などについて>

- 1 授業に関係のない操作はやめましょう。
- 2 朝読書（朝自習）や休み時間中の使用はやめましょう。
- 3 タブレットを学校で管理するときは、後ろのロッカーで管理しましょう。破損を防ぐため、机の中や手提げカバン等で机の横でぶらさげることもやめましょう。
- 4 常に学校には充電されたタブレットを用意しましょう。

<自宅での使用・充電について>

- 1 自宅で使用する際も、学習に関係のないことで使用することはやめましょう。
- 2 充電量を確認し、充電が少ないようであれば家庭で充電をしてきましょう（充電量 50%が目安です）。